

交流文化学科ランゲージ専攻2年 安藤愛璃菜さんがTOPIKⅡ6級に合格

韓国語能力試験(TOPIK)は、韓国の大学や企業が採択する唯一の韓国語試験です。その最上級であるTOPIKⅡ6級に、交流文化学科ランゲージ専攻2年の安藤愛璃菜さんが合格しました。安藤さんは専攻プログラム「コアン・エクスパート」を選択し、語学力に磨きをかけています。「韓国ドラマを字幕

なしで見たいと思ったことがきっかけで、高校生の頃から独学で韓国語を学び始めました。韓国語や韓国文化が好きという気持ちで原動力となって毎日の勉強を継続し、合格を果たすことができました。卒業後、韓国語を使う仕事に就けるよう今後も積極的に学び続けます」と安藤さんは笑顔で語りました。



長久手キャンパス新1号棟竣工式

2024年度に愛知淑徳学園創立120周年、愛知淑徳大学創設50周年を迎えるにあたり、周年記念事業の一環として長久手キャンパスの整備が進められています。5月16日には新1号棟の竣工式が開催され、関係者が参列しました。

新1号棟は8階建てのスタイリッシュな建物です。一般教室や研究室をはじめ、

2024年4月開設予定の食健康科学部食創造科学科(仮称・設置構想中)専用施設があります。6月1日に旧1号棟の一般教室は閉鎖され、同日に新1号棟6階の一般教室(ゼミ室)の授業利用が始まります。大学創設時から多くの学生を見守った1号棟が生まれ変わり、新たな歴史が刻まれていきます。



建築・インテリアデザイン専攻 優秀作品展2023

2月21日から26日までの6日間、名古屋市民ギャラリーにて創造表現学部創造表現学科建築・インテリアデザイン専攻の「優秀作品展2023」が開催されました。会場に並んだのは、学内で高く評価された卒業プロジェクトの設計制作12点、論文3編と、1〜3年次の実習課題の優秀作品18点です。住宅や文化施設、学校などの

設計図面・模型、歴史的建築物や建材に関する論文など、独創的な着眼点や深い考察に基づく作品が揃いました。会期中、建築家の中山英之氏によるミニレクチャーと、展示作品の審査も開催されました。学年関係なく互いに学び合い、新たな制作・研究に取り組みむヒントや卒業後の進路につながる貴重な時間になりました。



マラソン大会

2月8日に3年ぶりのマラソン大会が愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で行われました。以前は学校周辺の平和公園を走っていた伝統の行事です。当日は淑徳晴れとなり、中学1年〜高校2年まで5学年がマラソンを楽しみました。公園内のコースはよく整備されていたため、大きなけがや事故

もなく無事終えることができました。生徒の感想では「とても走りやすかったです」「楽しかった」「また走りたい」などがあり、とても前向きでした。今後も今回の反省に基づき、さらに良いマラソン大会が運営できるように、そして生徒一人ひとりの思い出づくり、成長の一助となればと考えています。



高1公共論文発表会

2月16日、高1では4月から自ら興味のあるテーマを設定し、一年をかけて論文を制作します。テーマは近年注目されているSDGsや環境問題、医療・薬学関係やスポーツなど多岐にわたります。2022年度は2年間にわたり中止としてきた大アリーナでの発表会も実施することができました。10分という限られた時間の中で、自分の疑問に対する答えを聞き手の中学生に分かりやすく伝えることは簡単ではありません。生徒は各々工夫を凝らした資料を作成し、熱心に発表を行いました。中には教員が驚くようなレベルの内容・発表もあり、自らの探究活動に自信を深めた生徒も多くいました。



令和4年度 中学校卒業式

3月17日、第76回卒業証書授与式が本校大アリーナにて行われ、淑徳晴れのもと278人が卒業しました。卒業のことばはまず「憧れていたセーラー服に身を包み、これからはじまる新たな生活に心躍らせながら迎えた1年生。そんな期待も虚しく私たちの中学校生活は長く自宅待機からはじまりました。」と語られました。それでも3年生になり、クラスで創り上げた演劇の定番は達成感で満ちあふれ、縦割りで実施した体育祭では学年を超えた絆を感じ、念願だった沖縄研修旅行は忘れることのできない大切な思い出となりました。最後に「中学生活3年間で培われた【淑徳魂】でどんな困難にも立ち向かっていけると確信します」と締めくくられました。



第77回 高等学校入学式

4月6日、275人の新生を迎え、高校入学式が執り行われました。今年度から高校の校長に就任した錦織校長は式辞を述べ、「学びて時に之を習ふ、亦た説はしからずや」「之を知る者は之を好む者に如かず。之を好む者は之を楽しむ者に如かず」と『論語』の言葉を引用し、深い学びと豊かな経験を通して達成感の持てる高校三年間を過ごすようにと伝えました。来賓の小林素文理事長からは、三年ぶりとなった新生の校歌への感動を綴る言葉とともに「優しさで強さを兼ね備えた人になつてくたさい」とエールが送られました。式後の教員紹介では、高1関係の各教員の名前が呼び上げられ、教員一同、教育活動により一層励む決意を新たにしました。

